

第137回リニアドライブ技術委員会議事録（案）

日時：平成25年12月6日(金)13:30～16:30

場所：JR東海品川ビルA棟会議室

出席者：委員長 北野（JR東海）

副委員長 水野（信州大）

委員 上田（東芝）、海老原（IEEJフェロー）、坂本（鉄道総研、長谷川代理）
白石（安川電機）、前田（シンフォニアテクノロジー）、樋口（長崎大）
矢野（近畿大）、吉桑（三菱電機）、脇若（信州大）

幹事 村井（JR東海）

幹事補佐 矢島（SMC）（記） (13名)

欠席連絡（委任） 平田（大阪大）、増澤（茨城大）、森下（工学院大）、和多田（東京都市大）（4名）

提出資料

- 137-1 第136回リニアドライブ技術委員会議事録（案）（矢島幹事補佐）
137-2 リニアドライブ技術委員会名簿（矢島幹事補佐）
137-3 第113回(H25年度第3回)産業応用部門研究調査運営委員会議題（北野委員長）
137-4 平成25年度リニアドライブ技術委員会活動報告（北野委員長）
137-5 平成26年度(H26年4月～H27年3月)活動計画（2次案）（北野委員長）
137-6 電磁アクチュエータシステムのための磁性材料とその評価技術調査専門委員会設置趣意書（案）（北野委員長）
137-7 平成25年度論文発表賞A（研究会）候補者割当数（本部申請）（北野委員長）
137-8 リニアドライブ技術委員会議事録・提出資料（矢島幹事補佐）
137-9 リニアドライブ技術関連カレンダー（矢島幹事補佐）
137-10 平成26年電気学会全国大会シンポジウム（案）提案用紙（矢島幹事補佐）
137-11 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会（MEL）活動報告（矢島幹事補佐）
137-12 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会（MDD）活動報告（上田委員）
137-13 第12回環境調和型磁気支持応用技術の体系化調査専門委員会議事録（案）（坂本代理）
137-14 第10回産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会議事録（案）（矢島幹事補佐）
137-15 第10回多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会議事録（上田委員）
137-16 第11回多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会議事録（上田委員）

議事

1. 議事録確認

第136回委員会の議事録（資料137-1）について、誤記修正（SEDA→SEAD）のうえ承認された。

2. 報告事項

- 2.1 資料137-2を基に、LD技委の名簿が確認された。変更は特になし。
2.2 資料137-3を基に、村井幹事から12月5日に開催された第113回（H25年度第3回）産業応用部門研究調査運営委員会について説明がされた。特記事項を下記に示す。
(1) 技術報告の引用許諾のルールが整理された
(2) 単行本を出版する手順が整理された
(3) 「電磁アクチュエータシステムのための磁性材料とその評価技術調査専門委員会」の設置が承認された。下記のコメントがあった。
・他委員会と関連あるため、他委員会とうまく連携をとるように
・シンポジウムや報告書のイメージを早く固めて進めるとよい
(4) H27年産業応用部門大会は大分大で開催
(5) 研究会における発表者への研究会資料の無料配布の廃止
2.3 資料137-4を基に、北野委員長から、H25年度LD技委の活動報告がされた。10月分を追加。
2.4 電磁アクチュエータシステムのための磁性材料とその評価技術調査専門委員会設置趣意書（案）（資料137-6）が提出された。本委員会は12月5日の運営委員会で承認済み。
2.5 資料137-7を基に、北野委員長から、H25年度の発表賞の割当が説明された。LD技委はA賞が2

件、部門表彰が5件。1月中に鳥居幹事から候補者を推薦する。

- 2.6 資料 137-8 を基に、矢島幹事補佐から、LD 技委の議事録および提出資料の電子ファイルの保管について説明があった。資料記載のリンク先からダウンロードできる。
- 2.7 資料 137-9 を基に、リニアドライブ技術関連カレンダーについて確認された。下記が追加された。
- ・ 2015 年 5 月 SEAD27 (長崎)
 - ・ 2015 年 7 月 LDIA2015 (アーヘン)
 - ・ 2015 年 8 月 産業応用部門大会 (大分大)
- また、次年度の LD 技委の開催日は下記の通り。
2014 年 4 月 25 日 (金)、7 月 4 日 (金)、10 月 3 日 (金)、12 月 12 日 (金)
2015 年 2 月 6 日 (金)
- 2.8 資料 137-10 を基に、矢島幹事補佐から、3 月 20 日に行なう電気学会全国大会シンポジウムの内容について説明があった。既に事務局に提出済み。

3. 審議事項

- 3.1 第 136 回委員会の議事録 (資料 137-1) の確認の際、SEAD27(2015)の実行委員長を樋口委員とすることが承認された。2015 年 5 月 13-15 日(もしくは 20-22 日)の開催を予定。
- 3.2 第 136 回委員会の議事録 (資料 137-1) の確認の際、北野委員長から LDIA2017 の実行委員長について平田先生から辞退された旨の説明があった。今後、LDIA2017 の実行委員長を検討する。
- 3.3 第 136 回委員会の議事録 (資料 137-1) の確認の際、運営委員会において LD 技委から「貢献賞」を出しても良いというコメントがあったことが北野委員長から説明された。MEL 委において、H26 年電気学会全国大会シンポジウムで発表いただく方を対象に「貢献賞」を準備する。
- 3.4 資料 137-5 を基に、北野委員長から、H26 年度の活動計画が説明された。新設された藤崎委員会担当の研究会 (磁気学会・MAG 研と共催) を追加する予定あり。時期・開催場所について脇若委員と調整してすすめる。また、H26 年 10 月解散予定の MLV 委の次期委員会を 12 月に立ち上げる予定。
- 3.5 技術報告の英文出版について、もっと動きやすくするよう要望があった。
- 3.6 電学論誌に特集号を組むことが審議され、以下の意見があった。
- ・ 電学論誌に英文で投稿することが検討されている (そうなる予定)
 - ・ 電学論誌の電子化に伴い、投稿件数が減っている
 - ・ 電学論誌はインパクトファクターのポイントにならず、敬遠される
 - ・ 論文数は活性度の指標であり、特集号を組むと論文が集まるのでよい
 - ・ できるだけ特集号を組んだほうが良い
 - ・ 特集号だと企業は発表しやすい
 - ・ LD 技委もちで特集号を組む。どんなテーマなら何件あつまるか?リニアドライブ関連の Dr コースの学生は何人いるか?など検討する。

4. 各調査専門委員会活動報告

資料 137-11～資料 137-16 を用いて、各調査専門委員会から活動報告があった。

次回 (第 138 回) 開催予定 : 2014 年 2 月 7 日 (金) JR 東海品川ビル

以上